

# みさき

美咲町

議会だより

2005年8月10日発行

創刊号

## 美咲町最初の定例議会開催



美咲町内を視察研修する議員と執行部（南和気荘にて）

### 主な内容

- 人事案件この人が決まりました—— 2～3
- いろいろ決まりました。委員会報告—— 4～5
- 一般質問 町政の今後を問う—— 6～17
- 議員の抱負—— 18～19
- 議員美咲町内研修—— 20

# 美咲町議会が始動

## 定本議長 大神副議長に決定

去る五月十二日臨時会が開催され、議長、副議長、各委員が選ばれた。また十六年度予算、十七年度暫定予算、条例など全会一致で承認した。

- |  |  |  |  |   |  |   |  |  |  |
|--|--|--|--|---|--|---|--|--|--|
| <b>議長</b><br>定本 一友   |  | <b>副議長</b><br>大神 式之  |  | <b>常任委員会</b><br><b>総務委員会</b><br>三船 勝之<br>寒竹 壽之<br>大神 式之<br>貝阿彌 幸善<br>松島 啓友<br>定本 一友 |  | <b>民生教育委員会</b><br>草苺 修<br>岡田 壽<br>安藤 暢<br>小島 洋征<br>日神山 定茂 |  | <b>産業建設委員会</b><br>山本 宏治<br>岸本 清治<br>最上 忠<br>池上 弘道<br>下山 和由 |  |
| <b>議会選出監査委員</b><br>安藤 暢昭                                       |  | <b>議会運営委員会</b><br>小島 洋征<br>下山 和由<br>草苺 修<br>三船 勝之<br>岡田 壽<br>山本 宏治     |  | <b>議会広報編集特別委員会</b><br>岡田 壽<br>日神山 定茂<br>最上 忠<br>貝阿彌 幸善<br>松島 啓友<br>寒竹 壽             |  | <b>まちづくり調査研究特別委員会</b><br>寒竹 壽<br>岸本 清治<br>他 全議員           |  | <b>予算特別委員会</b><br>貝阿彌 幸善<br>最上 忠<br>他 全議員<br>(委員長 副委員長)    |  |
| <b>各組合議会議員</b><br><b>津山地区農業共済事務組合</b><br>寒竹 壽<br>池上 弘道<br>岡田 壽 |  | <b>久米老人ホーム組合</b><br>安藤 暢昭<br>最上 忠<br>貝阿彌 幸善<br>松島 啓友<br>三船 勝之<br>山本 宏治 |  | <b>柵原吉井 特別養護老人ホーム組合</b><br>最上 忠<br>大神 式之<br>山本 宏治<br>日神山 定茂                         |  | <b>津山圏域西部衛生施設組合</b><br>岸本 清治<br>小島 洋征                     |  | <b>勝英衛生施設組合</b><br>草苺 修<br>寒竹 壽                            |  |
| <b>津山圏域衛生処理組合</b><br>小島 洋征                                     |  | <b>柵原、吉井、英田 火葬場施設組合</b><br>大神 式之<br>下山 和由<br>草苺 修                      |  | <b>津山圏域消防組合</b><br>貝阿彌 幸善<br>下山 和由<br>山本 宏治   |  | <b>美咲町消防委員</b><br>松島 啓友<br>下山 和由<br>日神山 定茂                |  | <b>栗広域水道企業団 運営協議会委員</b><br>定本 一友                           |  |
| <b>津山広域事務組合</b><br>安藤 暢昭<br>三船 勝之<br>岡田 壽                      |  | <b>津山圏域衛生施設組合</b><br>大神 式之<br>下山 和由<br>草苺 修                            |  | <b>柵原、吉井、英田 火葬場施設組合</b><br>大神 式之<br>下山 和由<br>草苺 修                                   |  | <b>津山圏域消防組合</b><br>貝阿彌 幸善<br>下山 和由<br>山本 宏治               |  | <b>美咲町消防委員</b><br>松島 啓友<br>下山 和由<br>日神山 定茂                 |  |



初議会の様子(5月12日)

# 創刊にあたって

美咲町議会議長

定本 一友



三町合併から早や半年が経ようとしています。

まだ町内全域に議員の名前、顔が

十分に分かっていません。一人でも多くの住民の方々に活動・考え方を理解していただかなければなりません。

我々は議会広報を通じて皆様方に議員一人一人の活躍、議会の情報を伝える義務があります。一つの議案に対して、同じ内容の審議過程、議決が同時に正確に町内全域に伝わらなければなりません。そういう意味において、議会広報誌は特に重要です。

なんとかうまく伝えようといういろいろな工夫はいたしますが、上手・下手は二の次で一生懸命真心を込めて文字に致します。

「地方分権の推進」が法制化され、自治体の責任の範囲が拡大されます。議員も勉強し全員一丸となり、「ゆとりと豊かさの実感できる、世界にはばたく美咲町」実現に取り組んでまいります。

今後、変わりにない心温まるご指導、ご協力をよろしくお願い致します。

# 人事案件

五月十二日提案  
助役



矢木 康敬 (西 幸)



福井 正 (宮 山)



岡本 英二 (打穴里)



安藤 暢昭 (百 々)



角南 勝弘 (飯 岡)



西村 昌計 (南)

固定資産評価員



形井 圓 (西 幸)

美咲町情報公開  
審査会委員



杉山 倫子 (西 幸)



山本 輝文 (錦 織)



大崎 俊男 (西川上)



杉山 貢 (西川上)



爲房 勝 (久 木)

六月三十日提案  
議会推薦農業委員



杉本 彰一郎 (高 城)



井上 太 (中 幸)



黒瀬 精一 (打穴下)



池上 弘道 (新 城)

執行部から提案された各委員の選任につき、全案件に同意した。

# 臨時会の報告

七月十四日臨時会が召集され工事請負など七議案が上程され全会一致で可決した。

## 来たれ誘致企業

企業誘致条例、および誘致企業に対する固定資産の減免の条例改正が提案され、産業の活性化が期待される。

減免措置は、三力年の固定資産税一・四%をゼロとする改正。

誘致条例は、小規模企業に対応するもの。減免措置に当たらない企業に、三年間固定資産税相当額を奨励金として交付するとしたもの。

## 工事請負

完成を目指して

### 中央小学校の入札

給食施設整備工事 一億千七百万円  
プール建設工事 七千八百万円

以上、二件が(株)奥村組岡山営業所に落札、契約される。

# 一般会計予算 117億9,410万円

## 特別会計予算 87億6,778万円

### 平成17年度 会計別の予算

(千円以下切捨)

会 計 名	予 算 額
一 般 会 計	117 億 9,410 万円
特 別 会 計	87 億 6,778 万円
合 計	205 億 6,188 万円

#### (特別会計内訳)

高齢者住宅整備資金貸付事業	352万円
住宅新築資金等貸付事業	7,089万円
町営バス運行事業	1,421万円
津山・西川線共同バス運行事業	1,450万円
旭川ダム沿線バス運行事業	3,438万円
三休公園事業	2,200万円
生活改善資金貸付事業	82万円
国民健康保険事業	15億4,586万円
老人保健事業	27億5,585万円
介護保険事業	15億4,619万円
久米郡介護認定審査事業	998万円
国民健康保険診療所事業	1,074万円
柵原飯岡簡易水道事業	5,113万円
柵原北部簡易水道事業	5億4,904万円
柵原中央簡易水道事業	6,794万円
柵原栗子簡易水道事業	1,069万円
統合簡易水道事業	2億7,200万円
中央簡易水道事業	2億2,596万円
中央北部簡易水道事業	3,004万円
中央打穴・大井和簡易水道事業	1億1,654万円
下水道事業(飯岡・吉岡勘定)	4億6,583万円
柵原公共下水道事業	2,284万円
中央公共下水道事業	6億251万円
野外趣味活動施設事業	1億5,013万円
土地開発事業	1億4,109万円
用地取得造成事業	3,267万円
倭文西財産区	33万円

**一般会計**  
 歳入の自主財源は、町税 九・七％、基金繰入金(貯金の取り崩し)五・七％など合計二一・〇％。  
 その他は、地方交付税国からの分配金)四三・三％、町債(借金)一六・五％など大半は依存財源でまかなっている。財源確保に鋭意努力を求めた。  
 歳出は、公債費(返済金)一九・五％、人件費一七・九％、その他管理費など二二・五％、特別会計への繰入金(他会計への補助)八・八％。  
 新しい事業に使える建設事業費は二一・〇％と、厳しい状態に変わりはない。

六月定例会(六月十六日(三十日))が開催され、四十七議案が上程された。また十二議案が追加上程された。関連議案は各常任委員会、および予算特別委員会に付託され、慎重に審議され、最終日に全会一致で可決した。

予算特別委員会報告  
 貝阿彌委員長

機構改革に取り組み人件費などの抑制に努めること。違いのあった三町の事業への補助率、負担割合など調整し、予算執行にあたっては、内容を精査し進めるよう意見を付し承認。

**特別会計(二十七会計)**  
 介護保険事業会計では、三町の料金格差が大きく、平成十八年度に調整を図ること了解した。

また、赤字の住宅新築資金等貸付事業会計、飯岡簡易水道会計、柵原北部簡易水道会計、野外趣味活動施設事業会計、土地開発事業会計への対応を聞いた。

執行部から、「政策的に失敗に終りそのままになっている事業もある。それぞれの会計を精査し、王子・大戸団地の販売促進、エイコンパークの財産整理など進める。この赤字四会計は基金で対応するか、繰り入れて対応するか、早急に検討、計画書を作成し、解決に努める。」と回答があった。その他会計は、異議なく承認した。

# 常任委員会報告

## 総務常任委員会

本定例会では十件の議案が当委員会に付託され審査の結果全議案について異議なく承認した。主な付託議案は次のとおり。

### 美咲町元気なまちづくり基金条例

合併の町が合併特例債を利用し基金の設置ができるもの。年四億一千万円、四年度で十六億四千万円を基金として積み立てるもの。

### 美咲町国民健康保険条例の一部を改正する条例

被保険者に係わる所得割額の率の改正がなされたことに伴い、国保条例も改正されるもの。

### 美咲町老人福祉センター及びデイサービスセンター設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

美咲町老人福祉センター及びデイサービスセンター設置及び管理に関する条例の一部を改正するもの。

例

「柵原いきいきふれあい館」が吉ヶ原地内に施設整備完了。美咲町老人福祉センターに加えるもの。

本件は、町全体で統一した管理運営が必要と意見を付した。

### 美咲町過疎地域自立促進市町村計画の策定

過疎地域自立促進特別設置法に基づき、平成十七年度から五年間の計画を策定したもの。

その他、合併に伴い各組合などの規約の変更で関係する市町の規約が改正されるもの。

なお、閉会中の継続審査案件として、行財政改革財産管理 情報化社会への対応についての三点を審査する旨、決定した。

## 民生教育

### 常任委員会

新たな定数改善計画を早期に策定し、少人数学級の実現を求める請願

請願者〓美咲町打穴下

野津暢也

各自自治体でも財源問題から少人数学級は一部の学年にとどまっている。委員会としてもその必要から、全会一致で採択した。

一人ひとりにゆきとどいた教育を実現するため義務教育費国庫負担制度堅持を求める請願

請願者〓美咲町打穴下

野津暢也

政府の三位一体改革の議論でも一定の方向が見えてこない中で、意見が分かれた。意見集約し、ゆきとどいた教育を実現するため、政府関係機関に対し、働きかけは必要

であることから全会一致で採択した。

なお、閉会中の継続審査事項として、教育の環境整備 福祉・医療のあり方 環境問題の三点に決めた。

## 産業建設

### 常任委員会

今議会では付託案件がなかった。六月二十七日、上下水道など関連施設および本年度主要建設事業の現地

を確認した。少雨のため、田植不能や、

植付された苗が枯死する状況。旭川ダムの水位が低下し、農作物のみならず飲料水にも影響を及ぼしている現況を目の前にし、自然の恐ろしさを強く感じたところである。

三地区の整備状況を視察し、地域住民の要望に応え事業が執行されていた。今後、厳しい財政事情の中ではあるが、知恵を出し合い行政サービスを考える

ときだと痛感した。

なお、閉会中の継続審査案件として、上下水道の整備 産業振興 農林・土木関係の三点に決めた。



柵原坑道を利用した美咲町低酸素走路「ハイボキマイン・走路・やなはら」を視察する産業建設委員

# 町政を問う

## 一般質問



安全運転でお願いします(旭地区スクールバス)

**Q** 町バスの安全運行の指導は

**A** 安全が第一 再度見直す



日神山定茂 議員

**問** 合併し、美咲町には路線バス、スクールバス

ス、福祉バスなど委託を含めて約三十台が運行されている。多くのバスが運行され町民が大変便利に利用できている。一番大切なことは安全運行だ。運転手の健康管理はどのように指導対応されているか。

路線バスとして運行され

ている西川・津山線、和田北・津山線、柵原・津山線は三路線ともほぼ同じ形態で運行している。委託料に大きな差があるが、「かめつち。バス」の利用料金は現在無料である。美咲町としてバランスのとれた運行と料金の改善が必要ではないか。



奥村町長

**答** 今、3S運動を実施している。セーフティ、サービス、スピードである

が一番大切なのは安全である。健康など管理体制のしっかりした会社に委託するなど確認し、安全面については再度見直していきたい。

委託金額は、合併後間もないので十分把握できていない。今後、情報交通課を設置し検討していく。

バスの利用料金は住民福祉政策として財源の借置の投入も必要である。例えば

学生や高齢者に配慮するため、無料にするなど、現場状況に即応し、バランスのとれた対応を十分検討したい。

**Q** 統一したバスの運行計画を

**A** 情報交通課で検討対応する



三船勝之 議員

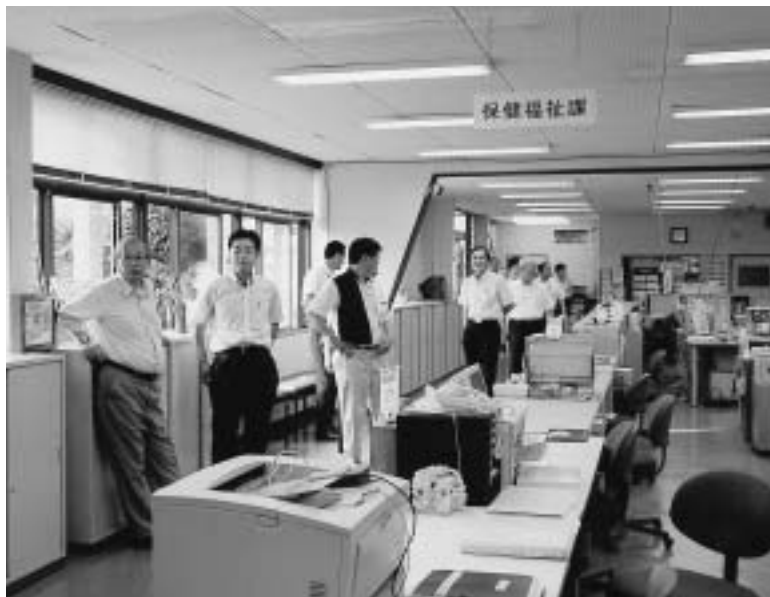
**問** 旧三町でそれぞれバスを運行しているが、美咲町として統一した運行計画の検討が必要ではないか。

試行運転もされているが、利用状況、運行ルートなど、調査検討が必要ではないか。福祉バスとして利用できるバスの台数は。

**答** 奥村町長 七月の機構改革に伴い、情報交通課で町有バス、スクールバスなど運行計画を検討し、住民の利便性を考え、対応したい。

**答** 兼光企画情報課長 学生、高齢者の足の確保は行政の責務であり、少子・高齢化の進む中で地域を走るバスはその地域の命綱である。路線バス、町内循環バス、福祉バス、スクールバスと計十七台運行しており、福祉バスとして利用可能と考える。

### 三 船 議 員



柵原総合支所を視察する議員

◎ 合併効果を出すための  
機構改革を問う

△ 目線を合わせ  
効果的に職員を配置する

**問** 三町合併により美咲町が誕生した。地方交付税の削減などで今後健全な財政運営が必要だが、職員数の適正化などで合併効果を出すための構造改革をどう行うか。

**答** 奥村町長 職員の適正規模は町民百人に一人というのが目安とされており、美咲町では一万七千五百人なので百七十五人位が適正規模と考えられる。現在六十人程才

バーしている。

機構改革、構造改革を進める中で、合理的な運営をしながら無駄をなくし、人員を抑えていきたい。合併の後であり、職員の交流を行うなかで、目線と考え方を合わせ十分な意識改革をしながら効果を上げる職員の配置を行いたい。今、人を減らすことはできない。残業などは代休をとるなどの対応で、十年後には適正規模の職員に近づけるよう進めたい。

◎ 協働の町づくりとは

△ 住民と協議しながら

**問** 協働の町づくりの説明会が行われている。どのような方を対象にし、その内容は、基本的なものが見えてこないか。

また、一戸、二戸からなる常会もあるが再編の必要があるのではないか。小さな自治体組織をどのように考えているか。



協働の町づくり説明会（西幸公民会館）

**答** 松島地域づくり推進課長

旭地区は区の役員が参加、柵原地区は全戸が対象、中央地区は区の役員と各種団体の代表が参加し、説明会を開催している。

町も財政難であり、今後は行政サービスにおいても役場だけでは困難な時代になってきている。そこで行政と地域の皆さんと一緒に町づくりをやりましよう、というのが協働の町づくり説明会の主な部分である。

常会の再編の問題は区長協議会とも相談しながら検討していく。

**答** 奥村町長

少子高齢化、過疎化の進む中で目指すものは自主、自立、自助の町づくりだと思ふ。住民の声が行政に届く、それをくみ上げながら一緒に協議し、それのできる部分を担当することによって、協力して町づくりをしていく、というのが協働の町づくりだと思ふ。基本的な説明会をしていく。

一般質問

# サービスの低下が町民に不満の声

## 理解するがまず行財政改革



安藤暢昭 議員

**問** 合併の際には、サービスは高い方に、負担は低い方にとの国・県の指導でした。

それに反して、旧柵原町で実施していた福祉、教育などのサービスや補助の多くがなくなっている。新町を三町の住民が力を合せて築こうとする時、住民から不平・不満の声が聞かれる。旧町で決めた歴史的ないきさつも含めて町長の認識は。

**答** 奥村町長 個々のサービスが、福祉、教育面で効果があるか、合併協議中に正副会長会で議論もした。

合併によりサービスが低下したとの指摘は理解できない訳ではない。マイナス面ばかりでなくプラスの施策もある。

合併してやるべきことは第一に行財政改革。住民に

より大きな満足度、より安心、安全な町づくりをすることが使命。住民福祉の向上に思いを一つにして頑張っていきたい。



手芸でリハビリ (吉ヶ原老健施設エリシウム柵原)

**Q** 負担が増える

介護保険の見直し

**A** やむを得ぬ対応では

**問** 介護保険の見直しは、問題点、改善点を把握して見直すべきと思う。しかし、現実には、国の財政支出を抑制するだけの見直し。一つは介護三施設

での住居費、食費の全額個人負担、一つは要支援、要介護に予防介護を重視した形に変え、家事援助を切るうとするもの。

この見直しの受け止め方は、また、地域包括支援センター設置の計画は、どのようになっているか。

**答** 奥村町長 国の介護保険会計も財政が非常に悪い。平成十七年十月利用分から、前述のように実施され、受益者の負担も増える。

受益者、被保険者の負担増は避けてほしいが、介護保険制度上、負担の公平さからやむを得ぬかもしれない。

**答** 松岡保健福祉課長 要支援・要介護1を見直し、地域包括支援センターを設立。そこで介護の世話をする予定。詳細な方針は、国・県から指示はな

い。今後の研究課題である。

**Q** 障害者に

応援を

**A** 負担軽減に

運動する

**問** 障害者自立支援法案が、国会で審議中である。この法案は応能から応益に転換するもので、障害者が苦しむようになるとして反対の声が上っている。

障害者福祉の面からも、是正するよう国に対し働きかけられたい。

**答** 奥村町長 この法案は、原則的に一割のサービス負担を求めるとの。自治体にも認定審査会設立などで負担がある。

受益者の負担軽減は大切なこと。国の施策として障害者福祉にしっかり取り組むよう運動する。



**Q** 津山ケーブルテレビ  
なぜ事業を中止した

**A** 光ファイバを  
全町一気に直営で



草苅 修 議員

**問** 柵原地区では、津山ケーブルテレビを事業化する計画があり、四月に国の予算が十七年度で実施することで決定。しかし、それを中止。所信表明で全町に光ファイバ敷設を十七年度で計画、十八年度完成を表明された。その経緯は。

**答** 奥村町長 柵原地区では電話局番が四局あり不便、テレビの難聴地域が多い中、津山テレビを巻き込んだこの計画は、四億六千万円の事業町の負担が九千二百万円。合併して行政格差がないように情報化時代に全町一

気に、しかも直営で行うべきと考える。概算事業費は三十億円。財源は合併特例債。全国でも例のない事業で、難聴地域の解消、IP電話で町内無料通話、福祉テレビのデジタル化にも使えるので決断し、国・県へ柵原事業の断りと新規事業へのお願いをした。十七年度で計画。十八年度事業実施でスケジュールを組み積極的にいく。

誰でもいつでも参加でき、主役は住民。行政は支援の立場。中央、柵原地区は育成支援事業を本年度から実施。旭地区は来年度から計画。会費が運営資金となる。収支・事業計画がはつきりすればどんな支援が必要か分かる。先進地の調査により支援の方法を考えていく。

**行事の三地区  
開催のバランスは**

**問** 柵原地区で行っていた産業祭、夏祭りの予算が組まれていない。中央地区の花火は開催の話も聞く。三地区のバランスは中央よりにはしないか。

**答** 奥村町長 国体の年でもあり、十七年度は基本的には全部取りやめることにしている。夏の花火大会は、久米郡商工会青年部が夏祭りを行うもの。行事はバランスをもって開催したい。



みんなでガンバロウ 総合型地域スポーツクラブ (柵原地区バドミントン教室)

**業者指名の考え方は**  
今後の業者指名の考え方は旧中央町のやり方が基本になるのか、旧三町のバランスを考えたからいくのか。

**答** 電子入札への取り組みはどう考えるか。  
矢木助役 現在のところ旧町の例により指名業者を選定し、入札は各総合支所で実施している。十八年度を目途に調整し、統一した方法で実施予定である。

電子入札への取り組みは経費が高くつき実施できない。しかし、自治体の共同開発など今後の検討課題である。

**入札の公表は**  
入札の予定価格、落札額、業者名などの公表は。

**答** 矢木助役 入札は予定価格を公表し、結果はすべてを公表する。

**中力教育長**

**答** 文部科学省はスポーツ振興基本計画の最重要施策としている。成人の週一回以上スポーツ実施率四〇

**問** 総合型地域スポーツクラブは行政と町民の連携が必要。教育長の考えは。

**総合型地域スポーツ  
クラブの行政支援を**

総合型地域スポーツクラブの行政支援を

一般質問

Q 協働の町づくりのねらいは

A 住民と共につくる町



大神式之 議員

問

協働の町づくりは、行政効率を上げる、財政が厳しくなった、という観点で進めるといふ訳にはいかない。結果として行政改革に協力していけるものだと思う。

答

行政そのものが、町長・町職員・議員だけで進めるのではなく、住民の皆さんと一緒に行政を進めていく、それが協働の町づくりの最大のねらいではないか。

奥村町長

公金の使い方、投資効果をいかに出すか、住民が求めているものは何か、本当に喜ぶものは何か満足度を高めるものは何であるか、しっかりと見極めて、住民の声を聞きながら取り組んでいくことが、協働の町づくりであると理解している。

Q

粗末にするな 高齢者の健康

A

無料検診で 対応

問

合併パンフレットには「サービスは高く、負担は軽く」と書かれているが、そうなっているか。

答

一例として、人間ドックの制度があまりにも高齢者の健康を粗末にしている。今年度の受診申込が激減している。「早期発見・早期治療」の保健行政に逆行しているが、町長としてどう判断されるか。

奥村町長

高齢者の健康を粗末にするのではない。在宅時間の長い七十歳以上の方々には、人間ドックでなく、町が実施している、無料検診を利用してもらいたい。在宅時間の少ない若者には、人間ドックを優先的に使っていたきたい。また、人間ドック、基本健康診査、一部のがん検診など、四十歳から対象になっている国の方針を、町独



楽しい水あそび（柵原西幼稚園）

Q

幼稚園の 意義は

A

幼児期の 教育に効果

問

柵原地区には幼稚園があり、保護者から喜ばれ、先生から歓迎されている。幼稚園存在の意義について教育長の考えは。

答

保育所、幼稚園の違いをまた、学童保育の必要性も認識し、先生方の思いを大切にしながら教育行政を進めていただきたい。

中力教育長

幼稚園においての学童預かり保育が、幼児期の教育に非常に効果があることは認識している。

旭地区では、児童館において預かり保育を、中央地区では、近々保育園舎を改造し学童保育が始められる。

学童保育、幼稚園、保育園なども大切にしながら、社会変化に遅れることのないように対応する。

Q

三町の速やかな融合を

A

意識統一を図る

問

非常に難しい問題であるが、是非やらなけ

自に二十歳までに引き下げサービス向上に努めている。

ればならない旧三町の速やかな融合を図る手法として町長の考えは。

答

奥村町長

五〇年の歴史の中で、いろいろな文化があり、また考え方も違う。町民の目線が一定の高さにそろつと同一歩調になろうかと思う。まずは職員の意識統一を図るため、大きな人事異動で融合、切磋琢磨することから始めていきたい。

# Q 柵原北部簡水の 移転整備と受水時期は

# A 18年度中に 整備し受水予定



下山和由 議員

**問** 吉井川柵原流域の河川改修のなかで北部簡易水道の浄水場付近の整備が遅れている。整備の予定と広域水道企業団からの受水の時期は。

**答** 石坂建設課長 当箇所は平成十年激甚災害特別緊急事業の計画区間にありながら未改修となっている。本年三月河川改修計画内にある浄水場など機能回復に必要な施設移転について岡山県と覚書を交わし、補償費をもって水道一連の施設を十七・十八年度で移転整備する予定である。

十九年度以降、連石および周佐地内の河川改修が可能となる。

**問** 内水対策、その後の関係機関との対応はどのようにになっているか。

**答** 石坂建設課長 藤原・久木地域は雨水が供用できる公共下水道事業により実施の考えである。十八年度に事業認可し工事着手の予定で現在準備している。

なお、大戸下の原地域および奥谷川の整備は一応完了と聞いている。緊急時には消防団および建設業協会によりポンプによる排水を今後も継続をお願いしたい。

**問** 吉井川支流の改修は既に岡山県より計画も出ているが、その後の進展は。

**答** 石坂建設課長 栗子および塚角地域

はパラベットで検討、県で実施するよう要望する。

百々地内の甲和気川は川幅が狭いなど、本格的な改修が必要と思われる。引き続き県に要望する。

**問** 広域水道企業団から北簡に全面給水後、栗子簡水の統合を願いたい。時期はいつ頃になるか

**答** 山本環境衛生課長 北簡の浄水場などの移転は先に説明のように整備、十八年度末企業団から給水の予定。

栗子簡水の統合は、橋梁

架け替えの話もあり時期については、明言できない。

# Q 美咲町の 特産物を

# A ピオーネの 生産拡大で

**問** 特産物の振興は、今後さらなる町行政の支援が必要と思うが、町の対応は。

**答** 梶尾産業課長 有機低農薬の棚田

米、ピオーネといった作物を中心に付加価値を高める農業を進め、学校給食では米とか野菜を地元から仕入れることで、地産地消にも力を入れてきた。

今後、美咲町としても特産物の育成のために各種団体との連携をとりながら育成強化をしていきたい。

本年度、ピオーネの生産拡大、産地づくりの対策、特産物育成のため各種団体の組織づくりなどに予算計上している。

**問** 町長は安全、付加価値、地産地消がキーワードと、旧町から取り組み、農業の振興は今後も進めていくことを所信表明されている。町長の特産物振興支援策を尋ねる。

**答** 奥村町長 特に、ピオーネは、岡山県の特産物の推奨品目一番に上っている。美咲町でも特産物はピオーネである。農協との連携のなかで行政ができる事にはかわっていく。



壮大に広がるピオーネ団地（連石台地）

一般質問



跡地をどう使う(大井和小学校)

Q 統合後の跡地利用を問う

A 地域の要望を優先しまとめる



岸本清治 議員

問

福祉教育ゾーンの統合小学校は、十八年度

念館など、地域の待機を生

答

中力教育長

跡地の利用は、不登

開校に向け工事も順調に進んでいる。

大井和、打穴、厚生小学校の跡地利用の方向と取り組みを問う。

かした活性化に役立つ要望が各方面から出ている。地域の要望を優先し、活性化につながる施設として早急にまとめたい。

Q 有線か

無線か

A 多目的には光ケーブル

問

光ケーブルも有線であり、災害時に断線の恐れもある。無線のほうが良いのでは。

答

奥村町長

無線は電波で飛ばすが、届かない所もできる。光ケーブルは切断の危険もあるが、安全で効率が良く、電話や医療面など多目的な利用が考えられる。

町内バスツアーを

問

旧三町を見学するバスツアーを企画し、町内巡りで新町になった一体感づくりの一助にしてはどうか。

答

奥村町長

各種団体に町内巡り

を企画されている。昼間空いているバスを利用し町内巡りの計画も考えている。町営バスということでも、中学生の部活動など多目的な利用も考えたい。

少子化対策は

問

元気のある町づくりは、若者定住で実現する。少子化対策は重要な柱。少子化対策への取り組みを問う。

答

奥村町長

子育ては大変だと思

Q 道路改良の負担金を取るな

A 経過をみて対応する

問

中山間地域で道路整備は大きな課題である。道路改良に地元負担が必要であれば、事業推進に支障はないか。旧町間の調整と今後の対応を問う。

答

奥村町長

各町で道路改良の負担が異なっていた。中央町方式の負担ゼロも検討したが、時間をかけて緩やかな調整に落ち着いた。中央

う。家賃補助、中学校卒業後の医療費補助の延長、奨学制度などできるだけ財政が許される限り若者の生活支援をしたい。

基本的に町営住宅は持つべきでないと考え、民間の力を借り、家賃補助で支援する。生活しやすい、生活コストの低い魅力ある政策で若者定住を目指す。町職員にも町内に住むよう意識の改革を求めている。

区では個人負担が増えたり、柵原地区では減っている。一、二年経過をみながら道路改良に支障がでないよう負担を考える。

# Q 安心して暮らせる町 高齢者へ支援を

# A 会話の場・足(バス)の 確保に努力する



寒竹 壽 議員

**問** 少子・高齢社会は全国的なものである。特に農山村の自治体は大きな問題でもある。核家族化のなか独居老人世帯も少なくない。明日の生活に大きな不安を抱いて居られる方も。高齢者が不安のない安心して暮らせるまち新生美咲町の施策は…。

**奥村町長**

**答** 本町の住民票では一人暮らしの世帯が一〇五〇、率で一八・三％。しかし、住民票は本町におき町外生活者も多く、実質六九世帯である。  
高齢者支援施策は、お年

寄りの方が元気なこと、高齢者の足、いわゆる福祉バスなどを確保し、引きこもりを少しでも無くし、外で皆さんと会話することも大切であろうと思う。一人暮らしの寂しさ、不安を解消していくのが町のできる最大のサービスとされている。町社会福祉協議会の協力も得て取り組むべく現在、担当課とも協議している。

元気な高齢者の方々には社会参加し、色々な力になってほしい。既にシルバー人材センターに参加し貢献され、また、老人クラブには多くの方が加入されスポーツを通じての健康づくり、ボランティア活動などで社会参加されている。お年寄りが社会の役に、意識の改革をして活動の道筋を願いたい。

# Q 光ファイバ網の構想は

# A 17年度は調査・設計 18年度に事業化予定



お年寄りのだんらん(デイサービスセンターかしのき荘)

**問** 旧柵原町では本年度光ファイバ整備に予算内示があつたが、合併に伴い町長は美咲町全域に整備をと決断。一体感を成す事業で結構なことであろうかと思つている。

光ファイバは通信速度は段違いに速く、さまざまなサービスの可能性を秘めている。

本年度で調査・設計、来年度に整備、しかも三〇億円と表明されているが、可能性の程はいかに。

**答** 奥村町長  
本件は将来必ず必要である。しかも全町ネットと意気込んでいる。  
財源は合併特例債を予定している。国県補助三・六億円、一般財源一・四億円、差し引き約二五億円が起債可能額。起債は事業費の九五％充当される。

**問** 本町の特例債の許容範囲は約八六億円のようであるが光ファイバ網整備の他に予定はないか。

**奥村町長**

**答** 中央では学校を新築している。本年度、プール、給食センターを予定しているが補助率は非常に低い、難しいようだが可能ならば使用したい。

# 町有林の管理方針は

**問** 新町での不動産は約九七〇町歩、うち山林は約五〇〇町歩、管理の方針は…。

**奥村町長**

**答** 一部以外は管理できていない。現状を把握し手を加えるべきものは加え、管理はしっかりしていきたい。

一般質問

特別会計四億円の赤字の対策は

A 年次計画で改善する



山本宏治 議員

年次計画を立て、健全な会計になるよう考える。

特別会計は二十七会計で、約八十八億円の予算が計上されている。整理統合、スリム化を考えているか。

奥村町長

当然、スリム化していきたい。ただし、水道会計は、戸数、人口、加入数で制約がある。許される範囲内で、スリム化を検討する。

予算編成での問題点

予算編成での問題点と今後の課題を問う。

前例にとらわれず思い切った職員教育、財政改革をしていたきたい。

奥村町長

予算は各課、各支所からの当初予算要求額が約百二十二億円。歳入の見込

額が、約百八億円。差し引き十四億円ほどの不足を生じた。六億五千万円ほどの基金を取り崩し、残りの八億円ほどはカットして予算を編成した。大変厳しい財政状況で予算を組んでいく。職員の意識改革を早急に行いたい。



やさしく対応（旭総合支所窓口）

Q 各総合支所の様子は

A 親切、丁寧な対応に努力

支所での事業計画、予算について、どのように手腕を振るわれたか。

山本中央総合支所長 住民の反応は、以前と変わっていない。住民課の事務処理は、合併のためか、昨年の同期間と比較すると、一・二から一・四倍になっている。住民には、親切、丁寧な対応、礼儀作法を心がけている。

島田旭総合支所長 職員は落ち着いて事務処理を行っている。現在、十五の自治組織を立ち上げ、強化、育成に努めている。

赤堀柵原総合支所長 引き継ぎに時間を要した。現在は落ち着き、住民サービスに努めている。

総合支所方式がとられ、約三カ月経過した。各支所長は、支所の問題点、職員の指導、また、現状の

一般会計で約百十八億円の予算編成は大変だったと思う。特に、特別会計で四億円余の赤字がある。合併協議で把握されていたのか。

奥村町長

特別会計の赤字は、旧中央町の住宅新築資金等貸付事業、旧柵原町の水道事業会計、野外趣味活動施設事業および土地開発事業に四億円余の赤字がある。合併協議では、主に一般会計を議論し、特別会計まで詳しく協議していなかった。

赤字は、行財政改革で、

**Q** 課の分掌事務を  
どうする

**A** 機構改革に  
合わせて行う



貝阿彌幸善 議員

**問** 長年の経験と実績によりそれぞれ課長という重要なポストに起用された。

各課の受け持つ仕事について、最重要課題と抱負を聞きたい。

また、町長は課の分掌事務をどのように考えているか。

**答** 松本総務課長

合併、美咲町誕生と大変貴重な経験をした。新しい美咲町での業務に、各部署で頑張っている。合併してよかった町をつくっていくと職員一同考えている。

住民に不便、不利益がないように業務が進めていければ、と思っている。

町長が行政の指針を定め、指示命令がされる。それに基づいて業務が円滑に進むようにするのが我々の責務と考えている。

**答** 奥村町長

七月一日に機構改革と人事異動を行い、事務内容を検討する。

仕事に取り組んでいくなかで、一番大切なことは自覚であると思う。

期待に背くことのないように意識改革を進める。

**問** 人事評価制度、事業評価制度など、どのように取り組んでいくのか。

奥村町長

**答** 人事評価制度、事業の効果、評価制度なども、当然、取り入れていかなければならないと思っている。



機構改革された役場（本庁舎内）



（分庁舎内）

一般質問



農業公社の作業受託

Q 農業公社を町全域に展開していくのか

A 活動範囲は当面柵原区域とする



最上 忠 議員

問 財団法人柵原町農業公社は平成四年に町と農協が一億円で設立。お互いの役割を果たしながら人件費相当を補助し、十数年が経過。今後も公社の必要性が求められている。

答 町長は農業公社の理事長として美咲町全域へ展開していく気持ちはあるか。奥村町長 公社の規約は理事長が町長の充て職になっていない。合併協議会では現行どおり引き継ぎ、範囲は当面柵原区域としている。町長としては協議会で決定したことを尊重することが今私にできることと思っている。

合併に対する思いは

問 「選挙戦で合併に対する住民の思いや批判を感じ、責任の重さを痛感している」という町長の新聞記事があった。率直にどう感じたか。また、課題が多い中、町づくりをどう展開するのか。

答 奥村町長 今回の合併で地域地域でそれぞれの思いがあった。中央地区では久米郡を望む声が多く、合併への選択肢も限られていた。柵原地区は多くの地域と隣接しており、住民の思いは色々あったことを感じた。課題は文化歴史、人間性、目線の違いが問題と思う。財政の健全化、住民サービス、福祉の向上への思いは一つ。これらに全力を注いでいくのが行政の目的と考えている。

男女共同参画は

問 合併協議会で各町長が決意表明までした男女共同参画であるが、二〇〇五年度の男女共同参画白書では「科学の進展と男女共同参画」を特集している。

答 奥村町長 町づくり条例があり、推進体制として町内の組織、推進本部を組織している。本部長の町長と話し合い、取り組みを進める。

答 高森男女共同参画課長 美咲町には男女共同参画課長 高森男女共同参画課長 農業分野では、男女間の格差が大きく、改革に向けて家庭内の話はもちろんのこと、自治体の取り組み強化が求められている。取り組みは、

答 奥村町長 行財政改革の中で、男女共同参画課は必ず存続する位置付けである。女性の社会参加も増え、所得も増えている。社会環境づくり、そして条件を整えて、人づくりを行い、お互いを認め合い人権を尊重する社会をつくりたい。



男女共同参画社会に向けてパネル展 (JR亀甲駅)



# 地域間交流のイベントに取り組み

## A 本年は協賛として参加する



松島 啓 議員

担当が多くなる。町主催のイベントを今年は控えさせていただきます。そのかわり、商工会などにお願ひしていただき、協賛として参加をさせていただきます。よろしくお願いいたします。



若者のふれあいの場（うらじゃ踊りの練習）

**問** つそのの一体感、連帯感を持たなければ、望めない。旧町で取り組んだイベントは精査することであるが、この時期は、地域間交流のためイベントが必要ではないか。

**答** 奥村町長 まず、職員が一体になり、皆さんに何をして交流したらいいのかというところも考えており、大きな意味合いを持つ人事をやらせていただくこととされている。また今年、大イベントの国体がある。町民職員とも国体に向け忙しく、負

## Q 若者定住の具体策を示せ

**問** 若者定住対策は、雇用の場の確保・創出、住宅の整備、文化施設の整備、スポーツ振興支援などを考えられる。具体的な施策は。

**答** 奥村町長 若者が、なぜふるさとを離れ、定住しないか、やはり、遊びの文化がないことだと思う。「うらじゃ踊り」などは、非常に多く

## A 遊びの文化の創出が必要

の若者が集い、ふれあいの場が広がる。そうした遊びの文化をしっかりと取り入れていく必要があると思う。雇用の場は、県北地域にないわけではない。さらに増やすように頑張りたい。

公営住宅は投資がかかるのでこれを民間にお願いし、認定借家、アパート、マンションの家賃を補助す

る方向で進めたい。

## Q 自治会組織の将来像は

**問** 自治会組織の将来像についての考えは。また、説明会での各地域の状況、今後の対応、予算などの支援策を尋ねる。

## A 住民主権の行政

**答** 奥村町長 住民の声を生かしながら住民のための、住民主

**答** 松島地域づくり推進課長

説明会での状況は、旧三町それぞれ思いが違い、旭地区では、初めて出た交付金なので、なくならないように、柵原地区では、行政への要望が多く、中央地区では、この制度をどうしたらうまくいくのか、という心配が多かった。今後、要望があればどんな地域に出て、話しをさせていただき、また、公共性、広域性のあるルールづくりをして、十八年度には、予算化したい。



# 新議員

# まちづくりへの抱負



定本一友議員

議会の役割を念頭におきながら、特性を活かした地域づくり、一体感ある町づくりに一生懸命取り組みたい。そして合併して良かったと肌で感じられる美咲町を目指します。



大神式之副議長

不十分な合併協議のままスタートした美咲町。五〇年の歴史と文化の違う三町の一体化は大変難しい作業。まちづくりの基本は、そこに住む人達が「合併して良かった。美咲町に住んで良かった」と言える町にすると思う。



熱心に審議（予算特別委員会）



岸本清治議員

信条 若さ・行動力 信念  
美咲町が、住民の皆様が住んで良かったと実感出来る、町創りに、全力で、取り組みたいと思います。常に、住民の目線で！



安藤暢昭議員

「住民こそ主人公」が私の町政にのぞむ政治信条です。若者が希望をもって生き生きと定住できる施策の充実・高齢者が安心して暮らせる福祉の充実など、町民参加で活力のある町づくりに、力いっぱい取り組んでいきます。



最上 忠議員

行政事務の効率化を急ぐあまり、住民サービスの低下や地域農業の振興などに悪影響を及ぼしてはなりません。地域に密着した行政を展開しながら、住民が納得のいく合併になるよう全力投球します。



貝阿彌幸善議員

「初心忘るべからず」常に最初の気持を忘れることなく、物事に対処して参ります。強い心で、住民の代表として、議会での是々非々の議論を重ねて参ります。公約の人情、情熱、熱血、実行で。



池上弘道議員

私は各旧町の文化、歴史、地域性、考えを調整しながら行政コスト削減と協働のまちづくりが重要だと考えます。住民と行政が対等の関係を保ち地域を守り発展させ後に禍根を残さない合併してよかったですと評価されるよう努力いたします。



松島 啓議員

新生美咲町の議員として、今後直面する諸問題に若者らしく、真っ向から取り組み、町民皆様方のニーズに合ったまちづくり、均衡のとれた地域の発展の為、全力でがんばります。ご指導・鞭撻の程、お願い申し上げます。

議会事務局



桑元局長

美咲町誕生に伴い議会事務局長に就任致しました。もとより微力ではございますが心新たに、職務を誠実に全うするため、勉強し努力していきたいと考えています。今後ともご指導をよろしく願います。



下山和由議員

議会人として少子高齢化対策等諸問題に精力的に取り組んでまいります。今こそ議会、執行部、職員が丸となつて智恵と汗をかき近い将来「世界にはばたく元気な美咲町」として全国から脚光を浴びる町になることに努力を重ねます。



三船勝之議員

今回の合併は行財政の効率化を進め行政費用の削減を計り、行財政基盤の強化が必要であり、今後国も地方交付税、補助金の削減が予想される中で、健全な行財政の確立が急務であり、中山間地域の特色を生かした町づくりに向けて頑張ります。



岡田 壽議員

合併前の住民アンケートで寄せられた要望の実現、不安の解消に公正公平をモットーに町の土台づくりに頑張ります。協働のまちづくり、農林業の振興は、元気なまちづくりの基。



小島洋征議員

誕生した美咲町を元気なまちにするために、住民が主役のまちづくり、分散型のまちづくり、議会の意識改革、この三点を私のテーマにして議会活動に取り組みます。「元気なまち」の基礎づくりに全力投球します。



草苺 修議員

選挙戦を通じて美咲町政に「情熱・行動・チャレンジ」をつつたえました。町民の方々から親しまれ、愛され大好きになつてもらえる「元気な美咲町」の町づくりに汗をかきましますので御理解と御協力をお願いいたします。



寒竹 壽議員

美咲丸の船出です。さざ波ならぬ荒波も...。不安のない財政基盤の確立に努めると共に早期に一体感の醸成が必要。

その目的と時代を先取りし町全域に通信情報網を整備、老若男女が元気で夢と展望のもてる美咲町を目指します。



山本宏治議員

美咲町の元気な町づくり、四年間頑張ります。少子高齢化の波はハイスピードです。「子供に夢を若者に希望を高齢者にやさしさを」をテーマにし、特に若者達が結婚をし子育てしやすい環境が必要だと考えております。



日神山定茂議員

新生美咲町がスタートしました。今や、地方の自立の時代といわれています。まずは住みよい町づくりのために、皆さんで考え、行動していきましょう。私は行政と町民との協働の町づくりの役に立ちたいと考えています。



志茂書記

美咲町議会の誕生と併せて議会事務局書記に任命されました。まだまだ勉強不足で、皆様にご迷惑をお掛けするかと思いますが、皆様にご信頼される議会事務局になるよう、一生懸命頑張ります。



美咲町議会は二日間で主な施設の視察を行いました。町長、助役と共に出席したそれぞれの担当者より概要を聞き、現状の確認をしました。

# 美咲町議会 議員全員で施設を確認

—七月十三日・十四日—

【写真上】

中央地区緑化公園内教育ゾーン  
平成十八年春開校予定の中央小学校建設現場を視察。



【写真中】

旭文化会館内の図書館  
図書の利用率は県下トップクラス。  
偉人岸田吟香の展示資料室も見学。

【写真下】

柵原ふれあい鉱山公園  
公園内には、鉱石を運搬した「片上鉄道列車」と「駅舎」、「高瀬舟」を展示。「鉱山資料館」で昭和三十年代の鉱山町や採掘の様子を視察。



## 編集後記

残暑お見舞い  
申し上げます

創刊号の議会だよりをお届けします。

三町合併でできた美咲町、旧町それぞれのやり方があり、互いに戸惑いを感じながらより良いものを求めて努力しています。

議会の新体制も決まり、議員それぞれ新鮮な気持ちで抱負を語り、議会活動に精出しています。

予算も決まりました。議員がまず足元を理解するため、町内の研修視察をしました。

広報委員六人。素人ばかりですが、議会であったことをできるだけ正確にお伝えし、町民みなさまに親しんで読んでいただける紙面づくりに心がけます。

みなさまからの紙面へのご意見、ご感想をお待ちしております。これからもうご指導のほどよろしくお願致します。

(岡田記)

議会広報編集特別委員

委員長 岡田 壽

副委員長 日神山定茂

最上 忠

貝阿彌幸善

松島 啓

寒竹 壽

